



河合公民館

河合公民館 福井学事業



河合公民館
みんなの
キャンパス

かわい知り隊クラブ

活動目標 河合地区のことを楽しく調べたり
体験したりする

- 授業時間の中に位置づけられたクラブ活動の中のひとつ
- 河合公民館が河合小学校と連携して企画したクラブ活動
- 4・5・6年生児童がメンバー

地元のおばちゃん
子どもたちの
活動をサポート

かわいサポ隊

河合地区の住民有志4名と公民館主事1名で構成



①ヨモギで草団子作り



自然に生えている「よもぎ」を使った団子作り。現代の子はこの「よもぎ」を知らなかった。サポ隊により団子作り伝授！

②河合に伝わる話を知る



河合に伝わる昔話をオカリナの調べと共に紹介し体験演奏も楽しんだ。
協力:オカリナわかばの会

③河合の蕎麦について知る



河合の特産である蕎麦の実の説明を受け、実際に蕎麦団子を作る。

このような活動
しています！



⑤昔の遊びを楽しむ



現在の「ケンバ遊び」とは違い、長方形を線で仕切って遊ぶ昔の方法を、サポ隊が子どもの頃の体験として伝え、皆で楽しんだ。
現在のより難しい！の音が…

④河合(中角)の遺跡について知る



学芸員の話聞いて、実際に中角発掘の土器に触れてみた。

協力:福井県埋蔵文化財調査センター

「かわい知り隊」の他にも、河合小学校の「**凧**」「**サイエンス**」「**茶道**」のクラブ活動に地元住民が関わっています。
これらの活動も、歴史・自然・文化・産業・景観・生活などの事象を学ぶ「福井学」への取り組みになります。

